

『音楽学』 投稿規程

『音楽学』は日本音楽学会が発行する学術雑誌で、学会員による査読を経て、年2回刊行されます。

1 投稿資格

- ・本誌への投稿者は日本音楽学会会員に限ります。ただし共同研究であって筆頭執筆者以外のメンバーに非会員が含まれている場合はこの限りではありません。また編集委員会が特に必要と認めた場合には非会員の寄稿を受け付けることがあります。
- ・「論文」および「研究と報告」の投稿は、それぞれ採否にかかわらず会員一人あたり1巻（1年）につき1件を限度とします。共同執筆の場合もこれに準じます。

2 投稿の種類

- ・本誌への投稿には「論文」の他に「研究と報告」、「書評」、「紹介」、「反論」があります。
- ・本誌への投稿は未公刊のものでなければなりません。ただし、学会誌に掲載された口頭発表の要旨は既発表論文とはみなしません。

3 執筆要領

1) 書式について

- ・原稿はA4判、横書きとします。なお、「論文」のみ縦書きも可能です。
- ・『音楽学』編集委員会の作成した最新の「書式の原則」に則って執筆してください。欧文の場合は英文投稿規程 Guidelines for contributors も参照してください。
- ・「書式の原則」は「日本音楽学会・機関誌『音楽学』」のウェブサイトに掲載されています（アドレス：<http://www.musicology-japan.org/publish/msjstyles.pdf>）。学会ウェブサイトをご覧にならない方は、日本音楽学会『音楽学』編集委員会に請求してください。
- ・今後「書式の原則」の大幅な改訂がある場合には、会報・総会などであらかじめお知らせします。

2) 「論文」の執筆要領

- ・使用言語は日本語・英語・ドイツ語・フランス語のいずれかとします。
- ・原稿の分量は本文・引用文献・注、および譜例・図版・図表等も含め、和文の場合は25,000字以内、欧文の場合は10,000語以内とします。
- ・和文、欧文いずれの場合も、十分行間をとってください。

・「論文」には、日本語の要旨と、英語・ドイツ語・フランス語のいずれかによる欧文要旨を付けてください。

・要旨は、和文は800字以内、欧文は300語以内とします。

・「論文」のタイトルは、日本語と使用した欧語で本文の冒頭に大書し、その下に執筆者の氏名を記してください。氏名が日本名の場合には、姓（全体が大文字）・名前（最初の文字のみが大文字）の順でローマ字綴りも並記してください。

・注は後注方式で執筆してください。編集段階で脚注方式に変換します。これは電子データ入稿時に起きる変換ミスを避けるためです。

・楽譜および写真、図版等については、権利者の許諾を得たうえで、必要に応じて著作権表示を行ってください。

3) 「研究と報告」の執筆要領

・「研究と報告」とは、論文としての体裁はとらないが、学会誌にふさわしい研究や調査報告その他の記事をいいます。

・使用する言語は日本語・英語・ドイツ語・フランス語のいずれかとします。

・原稿の分量は、和文の場合は8,000字以内で、欧文の場合は4,000語以内です。

4) 「書評」・「紹介」の執筆要領

・「書評」・「紹介」とは新刊図書を対象とする批評ないし紹介記事をいいます。

・「書評」・「紹介」の対象となるのは、過去3年以内に刊行された、研究書・全集・叢書（シリーズ）・楽譜や理論書の批判校訂版などのうち、学術的に価値が高いと判断されるものです。増補・改訂版は含みますが、リプリントは原則として除外します。

・使用言語は日本語・英語・ドイツ語・フランス語のいずれかとします。

・原稿の分量は、和文の場合、書評は4,000字以内、紹介は2,000字以内です。欧文の場合は、書評1,600語以内、紹介は800語以内です。

・掲載にあたって書誌データが必要です。『音楽学』バックナンバーを参照し、本文の冒頭に、著者（编者）名、（訳者名）、書名（二倍ダッシュを置いて副題も）、出版地、出版社、出版年月日（洋書は出版年）、ページ数、本体価格＋税、ISBNを明記してください。また本文最後に、執筆者名を、右寄せゴチック体で記入してください。

5) 「反論」の執筆要領

- ・「反論」とは過去2年間に『音楽学』に掲載された論文等に対する反論記事をいいます。
- ・使用言語は日本語・英語・ドイツ語・フランス語のいずれかとなります。
- ・原稿の分量は、和文の場合は4,000字以内、欧文の場合は1,600語以内となります。
- ・「反論」に対する「反論」の投稿は、原則として一度までとなります。

6) すべての原稿に共通する執筆要領

- ・執筆者情報について
 1. 執筆者姓名（ふりがな付き）
 2. 最終学歴
 3. 職業・勤務先
 4. 現住所または連絡先の住所、電話番号、および電子メールアドレス
- ・譜例・図版・図表等について

①譜例・図版・図表および対訳等で写真製版を希望のもの（以下、譜例等）は、本文中に挿入すべき箇所を明示した上で、原稿の末尾にすべてまとめてA4判で作成してください。B5判に縮小されて、編集段階で本文の指定された箇所に挿入されます（ただし、ページによっては指定の箇所に入らないことがあります）。

譜例等は投稿時のA4用紙1枚あたり1,800字分、欧文の場合は700語（『音楽学』1ページ分）に換算します。

②譜例等は指定分量に含まれます。

③文中の文字以外の諸記号、野線、音符、およびそれらに付随する文字も図版扱いとなります。

- ・欧文について
欧文（要旨を含む）はその言語を母語とする人による校閲を経たものを提出してください。編集委員会では欧文の手直しの責は一切負いません。

4 原稿の送付

- ・原稿（執筆者情報および「論文」の要旨を含む）は、電子データをメール添付で送付してください。「論文」および「研究と報告」ならびに「反論」は、加えて、電子データを4部（執筆者情報は2部）プリントアウト（片面印刷）して、送付してください（「書評」「紹介」は、プリントアウトの送付は不要です）。
- ・原稿の送付先は、日本音楽学会『音楽学』編集委員会（〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-3-3 生光ビル201, ongakugaku@flute.ocn.ne.jp）です。
- ・プリントアウトの送付は、書留・宅配便など配達記録の残る方法を利用してください。また、電子データとプリントアウトが同時期に到着するように心がけてください。事務処理上は、原稿の電子

データの到着をもって受付日とします。

- ・原稿は原則として返却しません。

5 原稿の採否および掲載号

- ・編集委員会は、独自性、論理性、実証性、有効性などをふまえて、総合的に掲載の可否を判断します。
- ・原稿は2名以上の査読者による査読の後、編集委員会が採否を決定します。その際、編集委員会は執筆者に修正を求めることがあります。
- ・掲載号および掲載の順序は編集委員会が決定します。原則として、「論文」、「研究と報告」の掲載はそれぞれの受領日順、「書評」・「紹介」の掲載は対象書の刊行年月日順となります。
- ・原稿は電子データとして入稿されます。掲載決定後、編集委員会からの指示にしたがい、本文（「論文」の場合には加えて、要旨および掲載用執筆者情報）を入稿用電子データとして送付してください。本文と図版等を別ファイルにすることは構いません。また、「論文」、「研究と報告」、「反論」については、加えて、入稿用のプリントアウト（片面印刷）を2部送付してください（プリントアウトが事務局に到着した日を受領日とします）。その際プリントアウトの内容が、入稿用電子データと完全に一致していることを確認してください。
- ・入稿時に、執筆者氏名と連絡先を制作担当の出版社に開示します。

6 公開の方法と著作権について

- ・『音楽学』は冊子体で出版されます。掲載内容のうち、「論文」、「研究と報告」、「書評」・「紹介」、「反論」は、科学技術振興機構のJ-STAGEのシステムを利用して、冊子刊行から1年後に電子公開を行います。
- ・『音楽学』に掲載される論文等の著作権は、執筆者に帰属します。執筆者は、掲載決定後、日本音楽学会に対し、著作権のうち複製権・公衆送信権（送信可能化権を含む）の行使を、再許諾権付きで許諾するものとします。
- ・論文中に引用される文章、図版、楽譜、写真等の著作権に関することは、執筆者の責任において処理してください。
- ・執筆者には、掲載決定後、著作権に関する事項を確認するため「著作権に関する確認書」を日本音楽学会に提出していただきます。

7 校正

- ・「論文」および「研究と報告」は初校のみ執筆者が担当し、「書評」・「紹介」、「反論」は編集委員会で校正を行います。

- ・ 著者校正の際に印刷上の誤り以外の字句の修正や挿入を行うことはできません。

8 締切日

- ・ 6月，9月，12月，3月のそれぞれ末日（必着）です。

(2012年11月24日一部改正)

(2014年11月8日一部改正)

(2016年11月12日一部改正)